

提供先

島根県県政記者会
出雲市政記者クラブ 松江市政記者クラブ

平成18年7月豪雨による 斐伊川・神戸川流域の被害概要等速報

～ 34年ぶりの大雨 47年災と今回の被害実態との比較～

- 1) 7月16日～19日の出水は、斐伊川本川で総雨量378mmとなり、昭和47年出水(総雨量538mm)以来、34年ぶりの大雨となりました。
- 2) この出水で宍道湖周辺では、松江市街地を中心に、2日間にわたり面積約7.7km²、家屋約1,800戸が浸水する被害が発生しました。
- 3) 昭和47年出水では、宍道湖西岸堤防の破堤による氾濫と、松江市街地の浸水により、約25,000戸、約70km²にもものぼる被害が発生しました。今回の出水では、宍道湖西岸の堤防整備により同地区の被害が大幅に軽減されています。

宍道湖西岸域では、昭和47年出水以降、堤防のかさ上げや拡幅などの堤防を丈夫にする工事を着実に実施し、平成15年までに宍道湖西岸の堤防約7kmが完成しました。

この堤防整備の結果、今回の出水では、宍道湖西岸の堤防からの漏水、越水は発生せず、被害が大幅に軽減しました。

宍道湖西岸	S47年出水	H18年出水
浸水面積	約50km ²	約2.6km ²
浸水戸数	約4,000戸	6戸

- 4) 現在進めている、上流の尾原ダム・志津見ダム、斐伊川放水路及び大橋川改修が完成していれば、松江の水位を約60cm下げることができ、松江市街地及び宍道湖周辺の浸水被害はほとんど防げたと考えられるとともに、神戸川上流の浸水域においても約1m程度の水位を下げることで、浸水被害を軽減できたと考えられます。
- 5) 馬木地点下流の神戸川については斐伊川放水路事業によって新しい堤防を築造したことことから、今回の出水では堤防を越水しての浸水被害はありませんでした。
- 6) 現在国にて進めている斐伊川・神戸川治水3点セットを強力に推進していきます。また、県においても今回被害の大きかった神戸川上流域における災害復旧及び河川整備を強力に推進していきます。

注) 速報のため、今後の整理により数値等が変わる場合があります。

問い合わせ先 国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

TEL 0853-21-1850 FAX 0853-22-7829

(技)副所長 土江 清司 (内線205)

調査設計課長 水草 浩一 (内線351)

国土交通省 中国地方整備局 斐伊川・神戸川総合開発工事事務所

TEL 0853-21-1650 FAX 0853-21-7304

(技)副所長 松崎 恭久 (内線204)

調査設計第一課長 高畑 栄治 (内線351)

1. 平成18年7月豪雨による管内の被害概要

浸水の状況(斐伊川本川・宍道湖・大橋川)

流域平均総雨量 378 mm(7/15 23:00 ~ 7/22 17:00)
 斐伊川本川で既往最高水位を更新
 浸水家屋数 約1,800戸
 松江市街地が広範囲で2日間に渡り浸水



平成18年7月23日現在
 松江 佐陀 玉湯 内水外水区分の詳細は確認中

2.547以降の治水対策の効果

宍道湖西岸の堤防整備により被害が大幅に軽減

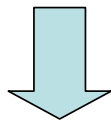
昭和47出水	
浸水面積	約5,000ha (約50km ²)
床上浸水	約2000戸
床下浸水	約2,000戸
浸水家屋計	約4,000戸



H18.7出水	
浸水面積	約260ha (約2.6km ²)
床上浸水	0戸
床下浸水	6戸
浸水家屋計	6戸

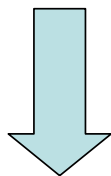
昭和47年出水で宍道湖の水位が上昇し宍道湖西岸の堤防が破堤約50km²に及ぶ大きな被害が発生

出雲市(旧平田市)

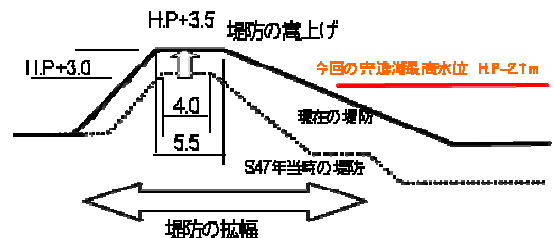


平成15年度に宍道湖西岸の堤防7kmが完成

- ・堤防高上げ
- ・堤防拡幅



今回の出水は2日に渡り、普段の水位より約2m近く高い状態が続いたにもかかわらず、宍道湖西岸の堤防に漏水被害はなし



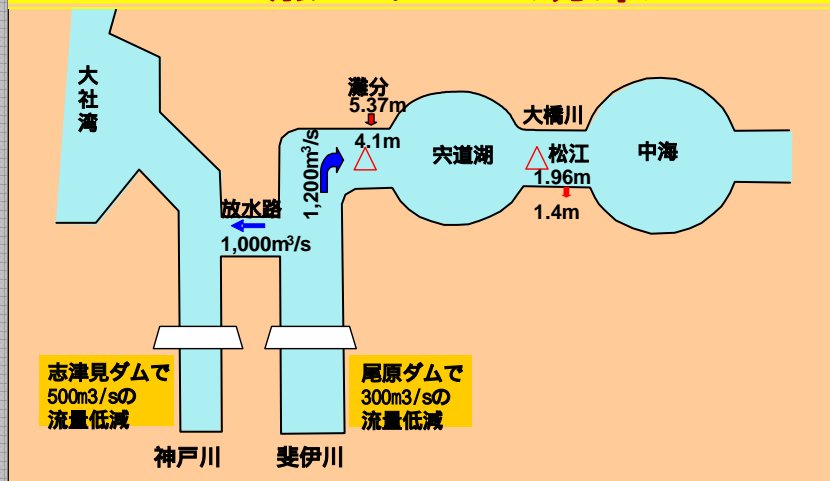
3. 斐伊川・神戸川の治水対策(3点セット)ができていれば・・・

3点セットが完成していた場合、今回の降雨では灘分で約1.3m、松江で約0.6m 水位が低くなるのが期待される。

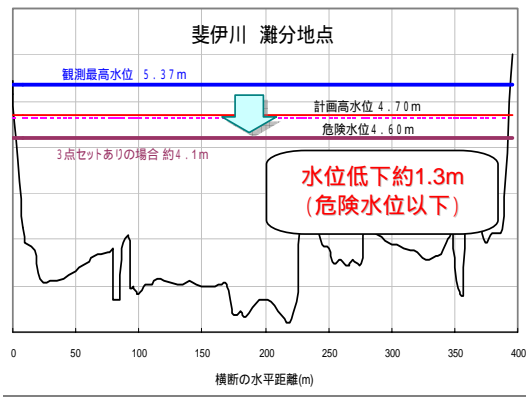
灘分では、計画高水位を越えなかったと考えられる。

志津見ダムが完成していれば、馬木地点上流域での水位は約1m程度低下していたと想定される。

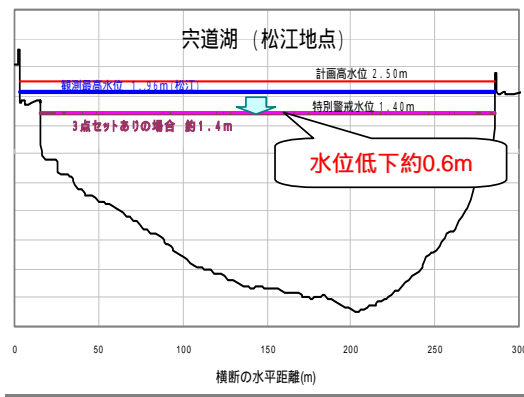
3点セットの効果



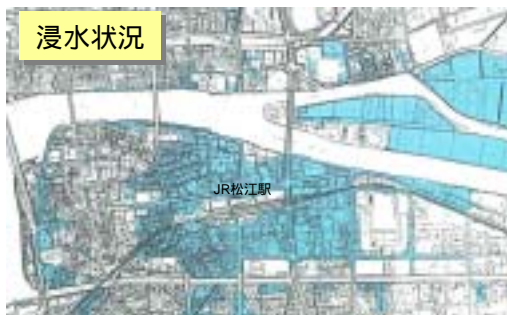
・灘分



・松江



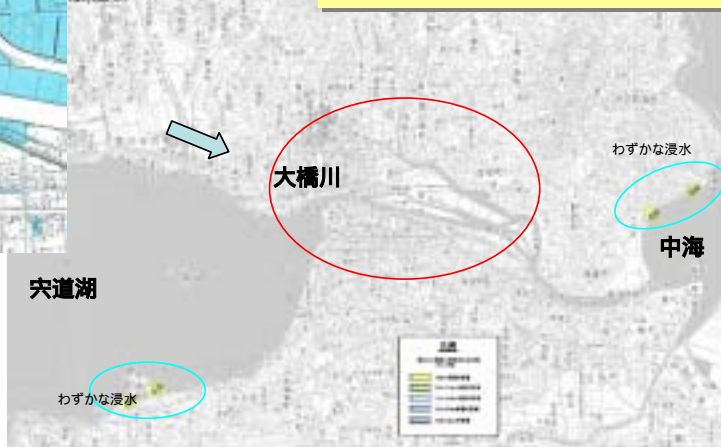
3点セットが完成していた場合、松江市街地の浸水被害をほとんど防げた



松江市街地の浸水被害

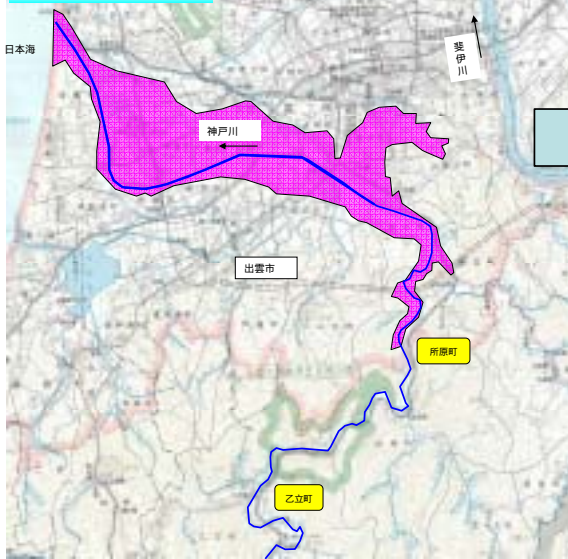
	H18.7洪水 (速報値)	3点セット有り の場合
浸水面積 (ha)	204.7 ha	被害無し
浸水戸数 (戸)	1,702 戸	被害無し

3点セット有りの場合の浸水予測



馬木地点下流の神戸川では斐伊川放水路事業による堤防整備により被害が大幅に軽減。

S47出水浸水範囲



H18.7出水浸水範囲

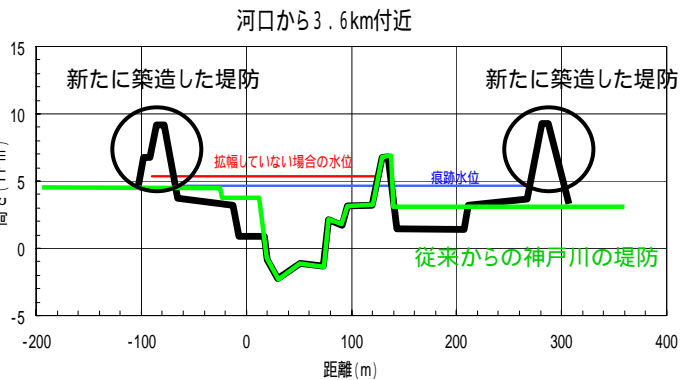


昭和47出水	
浸水面積	約21km ²
床上浸水	271戸
床下浸水	1,009戸
浸水家屋計	1,280戸

H18.7出水 出雲市、飯南町計 島根県調べ(7月26日現在)	
浸水面積	旧佐田町より上流は調査中
床上浸水	144戸
床下浸水	96戸
浸水家屋計	240戸

昭和47年出水で馬木地点下流の神戸川では大きな浸水被害が発生

斐伊川放水路事業により新しく堤防を築造。
 ・堤防嵩上げ
 ・河道拡幅



従来の神戸川の堤防では、今回の出水により河川から洪水氾濫を起こしていた。しかしながら、馬木地点下流の神戸川については、斐伊川放水路事業にて新たに堤防を築造し、平成16年には全ての堤防がつながったことから、今回の洪水では堤防を越水しての**浸水被害は無かった**。

今回の出水状況

1. 水文(気象・出水)状況【速報値】
2. 被害を小さく抑えるための対応
水防活動
排水ポンプ車による排水作業
3. 松江市街地の浸水被害状況
4. 神戸川流域の浸水被害状況
5. 出水時の情報提供の状況

参考1. 水文(気象・出水)状況【速報値】

降雨の状況

ポイント

平成18年7月16日から7月19日にかけて、山陰地方を中心に梅雨前線が停滞したことで、島根県では繰り返し大雨となったもの。



斐伊川水系流域平均総雨量 378 mm
(7/15 23:00 ~ 7/22 17:00)

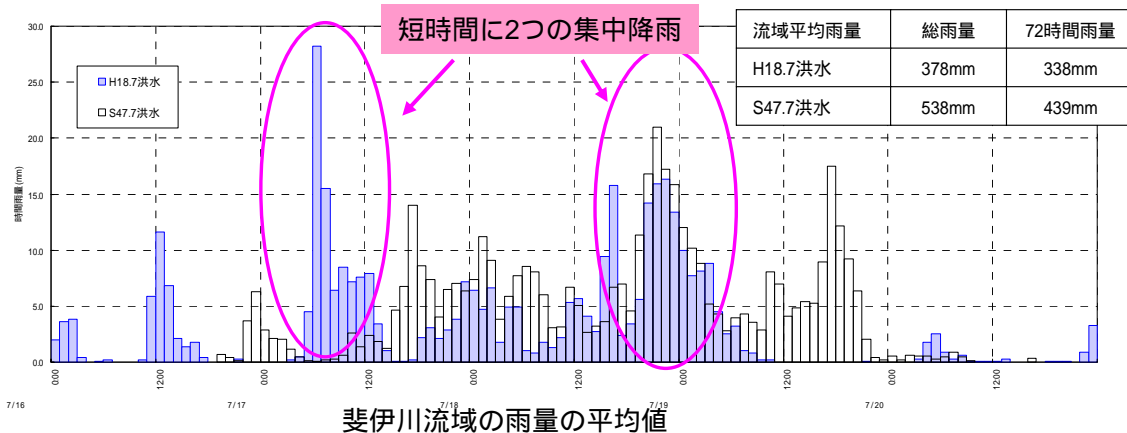
吉田(上流域最大の降雨) 441 mm
(7/15 23:00 ~ 7/21 4:00)

松江 345 mm
(7/16 0:00 ~ 7/19 8:00)



ポイント

総雨量は斐伊川流域の平均で**378mm**、2つピークの降雨。



水位の状況

ポイント(斐伊川本川)

本川各基準観測所で**観測以来の最高水位を更新**

特に、^{なだぶん}灘分では、計画高水位(HWL)を**67cm超過**

ポイント(穴道湖・大橋川)

松江観測所では、**昭和47年以来最高の水位を記録**

	地点	危険水位(m)	計画高水位(m)	水位記録		備考
				本洪水(m)	観測以来最高水位(m)	
斐伊川本川	木次	5.10	5.61	4.48 7月19日 4:30	4.23 S47年 7月11日	観測以来の最高水位を更新
	新伊萱	4.10	5.54	4.46 7月19日 3:40	4.21 S42年 7月 9日	観測以来の最高水位を更新
	大津	3.20	3.73	3.45 7月19日 6:00	3.36 S20年 9月18日	観測以来の最高水位を更新
	灘分	4.60	4.70	5.37 7月19日 6:30	4.54 S58年 9月28日	計画高水位超過 観測以来の最高水位を更新
穴道湖	松江	1.40 (特別警戒水位)	2.50	1.96 7月19日 14:50	2.36 S47年 7月13日	観測以来2番目の水位

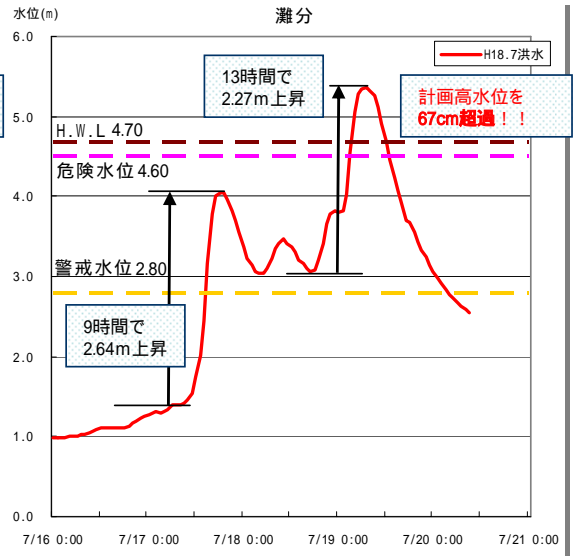
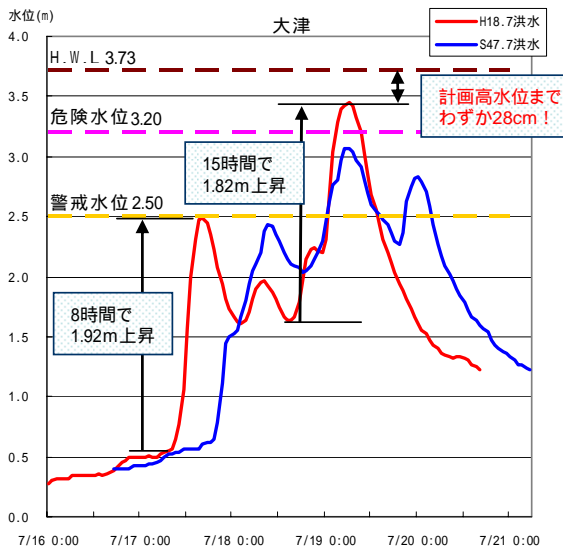


水位の変化の状況

ポイント(斐伊川本川)

水位が2度にわたり**急激に上昇**

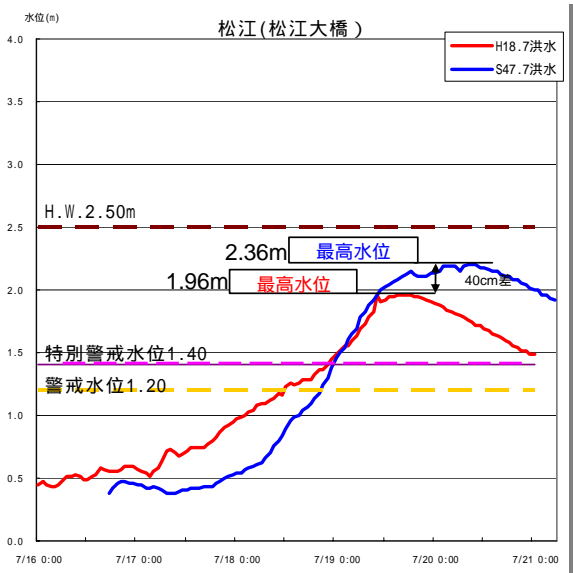
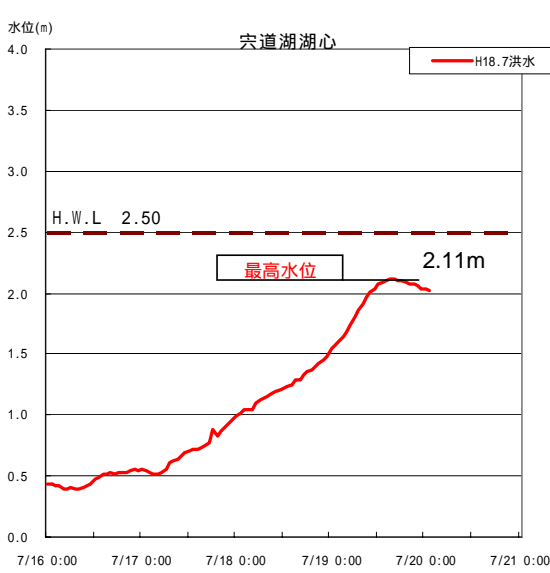
全基準観測所での観測以来最高水位の更新と、下流での計画高水位超過



ポイント(宍道湖・大橋川)

総雨量、72時間雨量で昭和47年出水の雨量より100mm以上少なかったことから、宍道湖周辺の水位は昭和47年ほど上昇しなかった。

大橋川周辺は堤防の整備が進んでいないことから、昭和47年出水と同様、松江市街地を中心に浸水被害が発生。

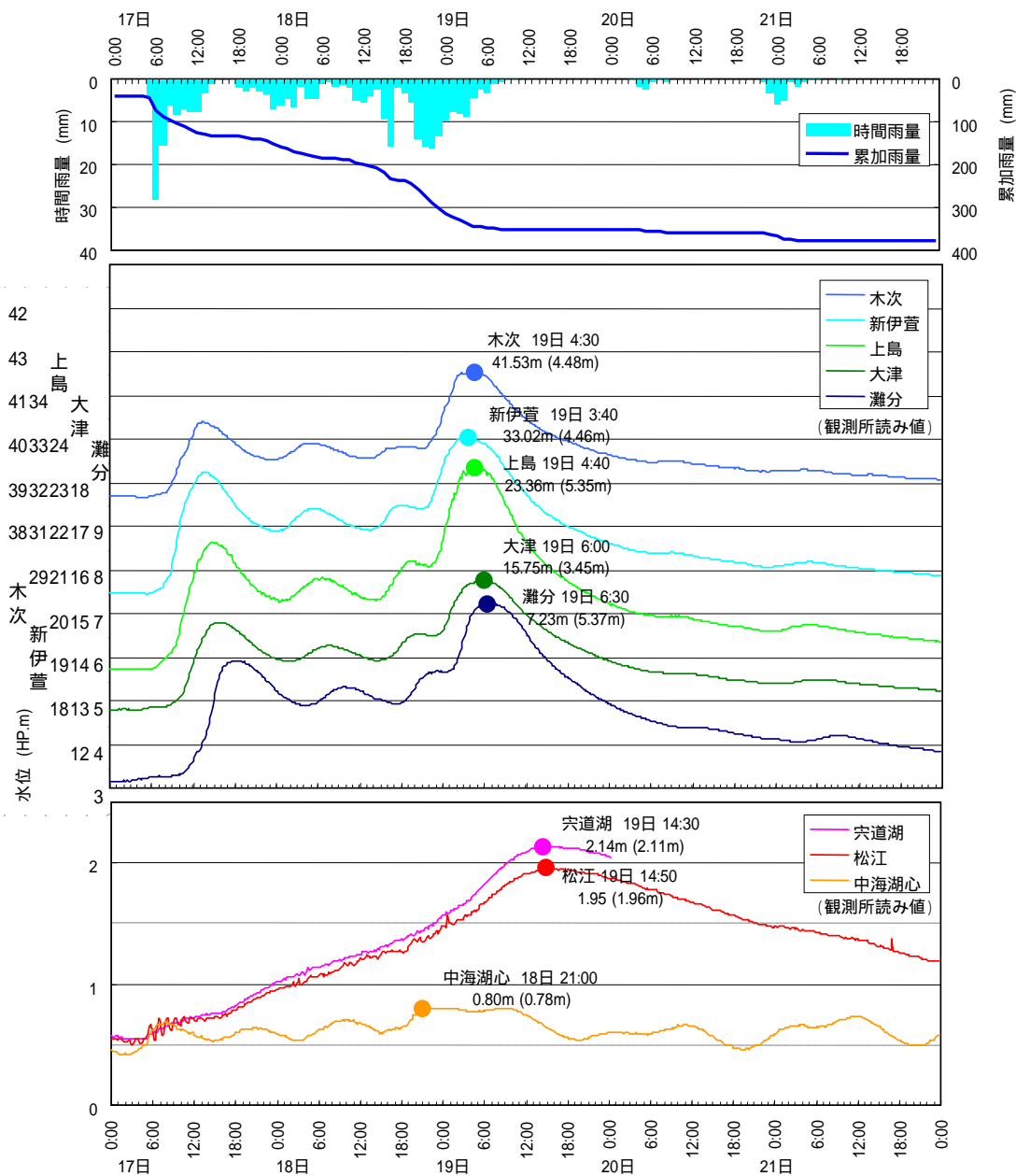


基準点観測所の水位状況

ポイント

各基準観測所で水位が**急激に上昇**の傾向

本川全基準観測所での観測以来最高水位の更新と、本川下流での計画高水位超過



参考2. 被害を小さく抑えるための対応

斐伊川本川

5k400付近 (右岸) 漏水対策【水防活動】
3k200付近 (右岸) 漏水対策【水防活動】

出雲市島村町、簸川郡斐川町坂田で漏水が発生。釜段工による漏水の抑制対策を実施。



浸水対策【排水ポンプ車運転】



出雲市灘分町の浸水を緩和するため、平田船川・山王川合流点付近において、20日17時35分から21日17時まで、排水ポンプ車による排水作業を実施。

3k100付近 (右岸)
越水対策【水防活動】



灘分では既往最高水位を更新し、計画高水位(HWL)を67cm超過。越水対策として積土のうを実施。

14k000付近 (右岸)
法面の陥没・漏水対策【水防活動】



簸川郡斐川町出西の堤防で、漏水により堤防法面が陥没。月の輪工による漏水対策を実施。法面の陥没に対しては土留め鋼矢板及び大型土のうを設置し、堤防法面の崩壊を防止。

7k500付近 (右岸) 法面の陥没・漏水対策【水防活動】



簸川郡斐川町今在家の堤防で、漏水により堤防法面が陥没。月の輪工による漏水対策を実施。法面の陥没に対しては大型土のう・小型土のうにより法面の崩壊を防止。

大橋川周辺

四国地方整備局、九州地方整備局、中国技術事務所、倉吉河川国道事務所からの排水ポンプ車も支援活動

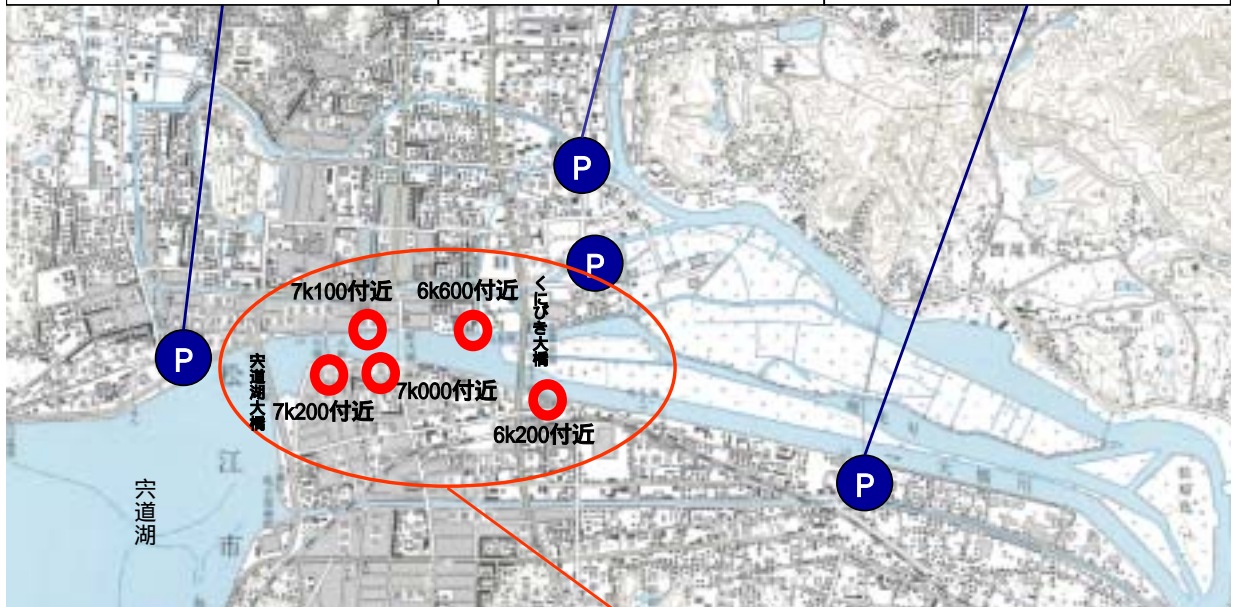
浸水対策【排水ポンプ車運転】



松江堀川周辺の浸水を緩和するため、末次町にて18日23時25分から21日15時まで、排水ポンプ車2台により排水作業を実施。

松江堀川周辺の浸水を緩和するため、北田川・朝酌川合流点付近にて20日14:55時から21日9時5分まで排水ポンプ車による排水作業を実施。

天神川周辺の浸水を緩和するため、東津田町長通にて20日19時06分から21日9時5分まで、排水ポンプ車による排水作業を実施。



越水対策・浸水対策【水防活動】



7k200付近(右岸) 八軒屋町



7k000付近(右岸) 和多見町



7k100付近(左岸) 東本町

大橋川からの越水により松江市内には浸水被害が発生。積み土のう工により越水対策、浸水対策を実施。

参考3. 松江市街地の浸水被害状況

浸水の状況(JR松江駅周辺)

ポイント

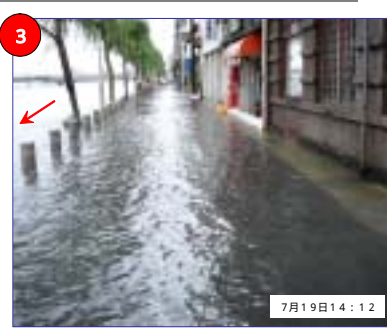
大橋川周辺は堤防の整備が進んでいないことから、昭和47年出水と同様、松江市街地を中心に浸水被害が発生。



【右岸6 / 200付近】

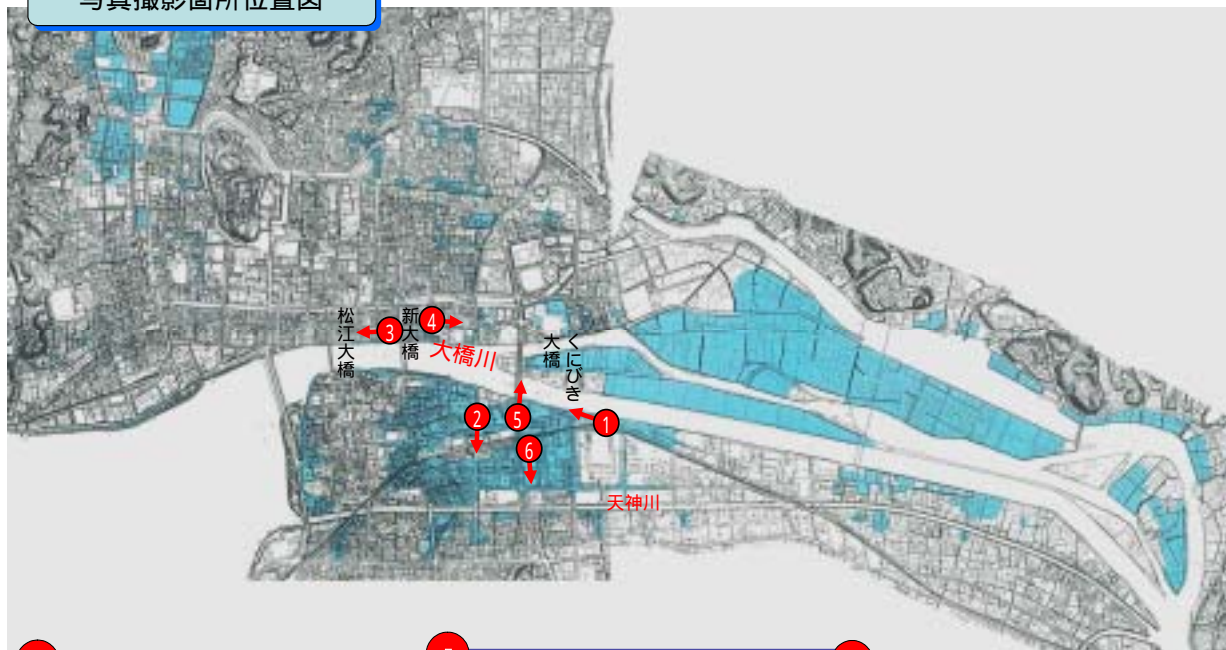


JR松江駅(北口)



新大橋上流【左岸7 / 000付近】

写真撮影箇所位置図



東本町



くにびき大橋 南詰め交差点



国道485号(JR松江駅南側)

参考4. 神戸川流域の浸水被害状況

神戸川流域浸水状況

平成18年7月16日から19日にかけて、梅雨前線による豪雨の総雨量は460mm(波多雨量観測所【県】)を記録し、この雨により県東部の神戸川流域でも浸水被害が発生した。(詳細については調査中。)



参考5. 出水時の情報提供の状況

緊急報道

FM出雲

19日3:50～16:30の間に、概ね30分～1時間間隔で河川情報に関する緊急割り込み放送を実施
統一河川情報による10分水位の速報値を直接住民に伝達

	斐伊川本川		宍道湖・松江	注意情報	備考
	水位情報	避難情報	水位情報		
3:50				(避難情報への注意喚起)	出雲市で避難勧告(3:35)
4:20					
4:30				(川の防災情報PR)	
5:00					斐川町で避難勧告(4:35)
5:30					
6:00				(水位低下時の堤防特性)	大津で最大水位(6:00)
6:30				(水位低下時の堤防特性)	灘分で最大水位(6:30)
7:30				(水位低下時の堤防特性)	
8:15				(異常発見時の対応方法)	
9:20				(異常発見時の対応方法)	
10:35				(異常発見時の対応方法)	
12:10				(異常発見時の対応方法)	
14:50				(異常発見時の対応方法)	宍道湖で最大水位(14:30)
16:30				(異常発見時の対応方法)	

出雲ケーブルテレビ

19日5:30～19:00の間に防災用CCTVカメラ巡回映像を提供
避難・被災等の情報テロップと共にCCTVカメラ映像を常時放送

記者発表

19日2:00～20日19:00の間は、毎正時に最新の情報を発表